



学校法人南山学園 行動計画

2026年4月1日策定

南山学園では、女性職員がその個性と能力を十分に発揮して職業生活において活躍できるようにするため、次のように行動計画を策定する。

1. 計画期間 2026年4月1日から2031年3月31日までの5年間

2. 課題

- ①管理職に占める女性職員の割合が低い。
- ②新卒で採用した教職員のうち、10年以内に退職する者が約25%存在する。

3. 目標と取組内容・実施時期

- 目標 1 女性管理職の割合を全体で25%以上にする。
- 目標 2 10事業年度前およびその前後の事業年度に採用された労働者の継続雇用割合を男女ともに80%以上にする。

※教育職員の管理職

大学：大学協議会構成員（学長、副学長、学部長、研究科長、教務部長、学生部長、図書館長、研究所総合委員会委員長、国際センター長、情報センター長、外国語教育・教職・体育教育センター長会議議長）

高校・中学校・小学校：校長、副校長、教頭

幼稚園：園長、副園長

事務職員の管理職

局長、本部長、部長、次長、室長、課長、事務室長、担当事務室長、事務長

<2026年4月から>

- ・女性教育職員については、職務経験に応じて積極的に管理職（担当職）に登用するよう、各単位の長に働きかける。女性事務職員については、職能資格試験へのチャレンジを上司から促す。
- ・管理職に対して部下の中長期的育成や評価に関する研修を実施し、各職場でキャリアプランを含めた育成・指導が行われるようにする。
- ・時間外労働が年間360時間以上の事務職員が所属する部署の管理職に対して、原因分析および人員配置や組織・業務の平準化等の見直しを含めた改善依頼を実施する。
- ・管理職による業務の優先順位付けや業務分担の見直し等のマネジメントを徹底する。
- ・働き方改革および時間外労働の削減に向けた研修を実施する。
- ・柔軟な働き方を実現するための育児・介護関係の各種制度について、学内のポータルサイト（Web）の活用や新採用者研修等により、教職員に周知・啓発する。

以上